

突撃取材 in 「Pepperの一般発売に関する発表会」

取材日：2015年6月18日（木）
（舞浜アンフィシアター）

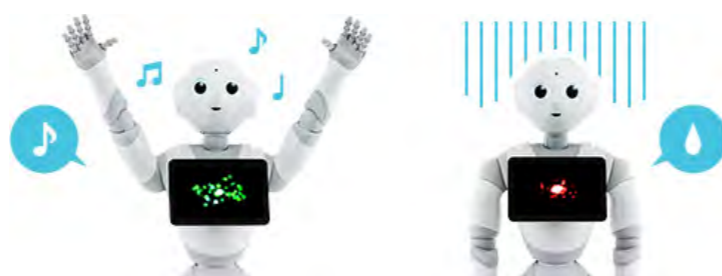
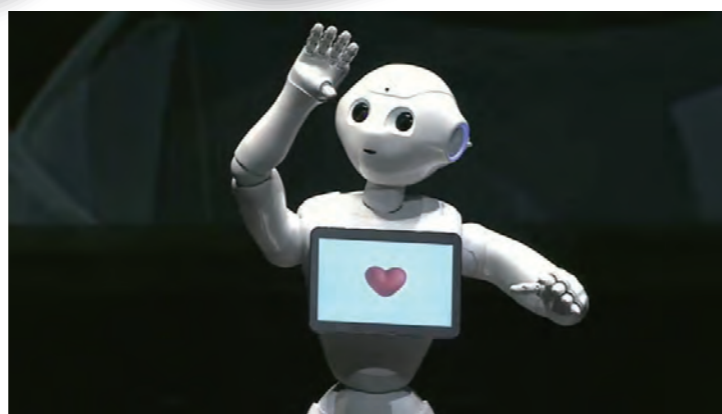


先日、ソフトバンクの「Pepperの一般発売に関する発表会」の抽選に当選し、会場に行ってきた。昨年6月にパーソナルロボット「Pepper」が発売されてから1年が経過し、世界初となる自分の感情を持ったロボットに進化した。人の表情や言葉、周囲の状況などをセンサーで感知し、Pepperの感情が変化することによって、言葉や行動が変わります。昨年の発表と同時に、アプリ開発のため開発者に広く情報を公開したことで、一気に進化を遂げました。現在、1,000社を超える企業がアプリ開発に興味を示しているそうです。発表から2日後の6月20日（土）の午前10時に1,000台の一般向け販売が開始されましたが、僅か1分で完売する程の人気でした。今回は、7月31日（金）の午前10時から1,000台の受付を開始するそうですが、今回も予約が殺到することは間違いなくでしょう。

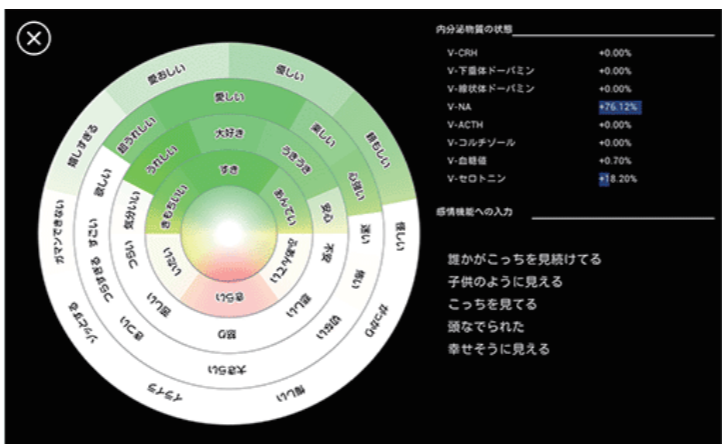
今後、ADでもイベント開催の際に、このPepperを利用して人を集め、簡単な説明やチラシ配りなどに利用出来ると思います。今秋には、法人向けに専用アプリやサポートが付いた「Pepper for Biz」というものを販売開始予定です。受付や商品紹介、販売などのロボットとして使えるソフトです。

また今回の発表会には、中国のアリババグループのCEO ジャック・マー氏と、台湾のフォックスコン・テクノロジー・グループのCEO テリー・ゴウ氏が招待されていました。どちらも大企業ですが、フォックスコンはiPhoneやiPadの製造を行っている会社で従業員は92万人。このアリババとフォックスコンとソフトバンクの3社が出資したソフトバンク ロボティクスホールディングスで、Pepperをはじめとしたロボット事業の世界進出に向けた体制強化をはかるとの発表も同時に行われました。

さて、肝心のPepperですが、販売価格は19万8,000円と、かなり手頃な価格ですが、これは本体だけの価格で、このままではソフトの入っていないPCと同じです。オプションとして、クラウドの音声認識エンジンを活用した会話機能や各種アプリが利用できる「Pepper基本プラン」（1万4,800円×36カ月）、Pepperが故障した際などにサポートを受けられる「Pepper保険パック」（9,800円×36カ月）が必要になって来ますので、本体価格と合計で1,083,600円かかります（基本プランと保険パックは分割払いの金額）。これを安いとみるか、高いとみるかですが、何れ1家に1台、いいえ、携帯電話の様に1人に1台の時代が来るのかもしれませんが、ただ、ロボットだから文句も言わないと思っていたら、感情エンジンが入ったことで、鬱っぽくなったりもするらしいです。



感情を持つPepperは、気分や、相手の印象によって、声色や会話の内容が変化します。



↑この感情マップで、さまざまな要因によりPepperの感情がリアルタイムに変化していくさまが確認できます。

ADに依頼していただくと、こんなご提案も出来ます！

スマホをお持ちの方は、右のQRコードを利用して、「clip」というアプリをダウンロードしてみてください。そのclipというアプリを起動して、一番上のPepperの写真をカメラ越しに見て下さい。ちょっと楽しいプレゼンに利用出来ます！

Clip Viewer

iPhone 版

Android 版

アプリを起動したら、アプリのココをクリックしてから、紙面一番上の Pepper の写真の QR コードを見て下さい。



7月に入ると毎年恒例の夏フェス準備期間に入りますが、今年はフジロックに行けない*ので出演アーティストの音源を聞いて、自分用タイムテーブルを考えて想像を巡らせています。悲しい!! お目当てはジョニー・マー、注目は再結成したライドや大御所のトッド・ラングレン、イギリスで大人気のロイヤルブラッドなど心揺られるラインナップ。その中でおススメが3日目のライブハウス型のステージ（レッド・マーキー）でトリを務める Of Monsters and Men（オブ・モンスターズ・アンド・メン）です。アイスランドで結成されたインディー・ポップバンド。メランコリックなメロディーに心温まる男女のツインボーカル。1stアルバム「My Head Is An Animal」は愉快で手拍子したくなるようなハッピーな1枚。楽団っぽいアーケイドファイアのように多幸感に溢れる幸せなライブ空間になることでしょう…。しかしポップで美しいバンドなのにちょっとダークで考えさせられる歌詞も魅力的。6月に2ndアルバムが発売されたばかりなので是非チェックして見てくだ

*いつも一緒にいる友達と予定が合わないの…



幻想的なイルミネーションや映像が現実逃避させてくれます。フジロックの有名石のゴロンちゃん。森の中や河原で沢山発見できる。

ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。
発行：株式会社エーディープロジェクト 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4

www.adproject.co.jp

adproject 公式 facebook を check
adproject がお届けするエンターテイメント情報を随時UP!!

皆様の いいね! をお待ちしております。

facebook adproject



もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>



2015 7
vol.038

EDGE
Positive mind

Legend

第19回 美意識⑱

～美国主義～



ゼネラルプロデューサー
榎垣 俊幸

■プロデューサー気質

同じ経験をして、プロデューサーとしての知力になる人とならない人がいます。それは、好奇心の持ち方の違いです。面白か？面白くないか？ではありません。こうすれば、もっと面白くなるとか、その先はこうなるだろうとか、好奇心と妄想力があるかです。好奇心に研究力と妄想力が加われば立派な作家としての資質が生まれます。

そしてオリジナルな美力を生み出す事が可能になります。美力とは魅力を超えたオリジナルな吸引力であり、情報に中毒性を持たせられる因子なのです。脳内ホルモンを発生させる非接触波動で有り、微量の電磁波なのです。これらの美力を持つには、記号性の創造と言われてきましたが、それだけでは欲求解消行動には結びつきません。

それは安全性が保障されないからです。端的に言うならば、コーヒーを飲ませたい時にどの様な情報を発信すれば、飲んでもらえる体験行動に結びつくかが、この美力情報です。美味しさの妄想力が湧く情報記号と飲みたくなる美力伝達がなされているからです。そして、それを飲む事にオリジナリティーが設定されるかです。これはオリジナリティーがアイデンティティーと言う個別意識である主体性に繋がるからです。それは、「本能」であり「性」だからです。これらの仮説に好奇心と研究心が湧く人は、プロデューサー気質があると言えます。好奇心の「何故」を「面白い」と捕え「研究心」に変換出来る力がプロデューサー気質の素養と言えます。この変換にエンターテイメント加工を行い、興味と言う美力因子を発生させる事がプロデューサー冥利と言う事です。つまらなく、興味の薄い事柄や時間を「楽しく興味深い時間」に情報加工する事と、美力と言う魔術を持たせる事が大切です。私達プロデューサーは、誰も見向きがなかった大切な「事」「人」「モノ」など全てを「楽しい夢と行動」に駆り立てる事が出来ます。これらの美力を、変わりゆく「未来」と生れてくる新しい「生命の活力」にするプロデューサー気質なのです。

■プロデューサーの誇り

私達の会社の誇りは「小さい事」です。何故って？それは創業者が小さい人だったからです？更に、事務所も小さくて満杯です。更に、大きな人には見えない視点が良く見え



adtain
adproject-entertain NEWSPAPER

モデル：Natalia Silkina / Height:175cm B:85 W:61 H:90
事務所：ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) <http://artrick.com>

adtainとは、adprojectとentertainが融合した「おもてなし」のトピックス誌

ます。下から、ものが言えます。また、ハラスメントがありません。創業者の存在がハラスメントだからです。とにかく、楽しい事しか考えられない人種の集まりです。子供が大好きです。自分が子供だから話が合います。自分より楽しい人には嫉妬します。食べ物が好きです。太っているからです。性別がよくわかりません。分別が無いからです。未来が好きです。どうにでもできるからです。戻る事が嫌いです。失恋が多かったからです。もめごとが好きです。次に平和になるからです。大好きなのは、ラーメンと昆布茶です。でも、要りません。どちらも塩分が多過ぎます。そんな会社ですが、プロデューサーとしての誇りがあります。それは、どんなことでも「冗談力」で「新しく平和で楽しい概念」を生み出せます。これが私達の美力と魔力です。この美力で世界が楽しくなるのがプロデューサーの使命です。

■プロデューサー冥利

気が付いたらプロデューサーだった。自分がやって来たことがプロデューサーだった。

企画書を何枚も何千枚も書いた。夢中で書いた、何の資料もなく妄想で創造して書いた。その中で、思わぬ企画書が採用された。まだどこにもない企画だった。「やり方」や「積算」など見当もつかない作品だった。先方から予算を預かったのは何億もの予算だった。今まで、見た事も使った事もない金額だった。よし、後は勇気だ！俺のやり方でやる。前例のない企画だ、俺しかやれない企画だ。出来たものが正解だ。先例が無いのだから文句は無いはずだ。相手のエンターテイメント受益者が標的だ、味方だ。よし一番面白いこれまで笑顔を見せなかった人を意識して絶対に笑顔にしてやる！これが自分の勇気を闘志に変えたプロデューサーの第一章である。やがて、その作品を見たあらゆる業界の人々が訪ねて来て力を貸して欲しいと頼まれた。そして、海外からの依頼もあった。お陰で、65国も海外に出かけ人々と仕事でコミュニケーションをする事ができ様々な価値観に触れ合う事が出来た。私の誇りは、言葉の通じない人々と通じ合う事が出来る事だ。今日はペットの子犬と目と目で話合っている。冥利に尽きる人生である。



阪本 崇裕

- Event : 富士五湖めぐり富士山一周ツーリング
- Date : 6月14日(日)
- Place : 富士五湖



ほうとう定食

突然ですが、富士五湖を全て言える方いらっしゃいますか？ちなみに私は4つまでは順調に言えるのですが、いつも最後の1つが出て来ないのです(泣)。今のゆとり教育では富士五湖なんて教えてくれません。私も一応ゆとり世代ですので社会人になるまで富士五湖って言葉すら知りませんでした。釣り好きの私は河口湖・山中湖はよく行くのですが、他の3つの湖は行った事がなく、今回、初めて行くことができましたので少し紹介させていただきます。富士山北ろくに点在する五つの湖で、山中湖、河口湖、西湖、精進湖、本栖湖を総称して富士五湖といえます。五湖はその昔、富士山の噴火で流出した溶岩流が川をせき止めて誕生したと言われていて、その中で一番大きな湖は山中湖であり、全国で3番目に海拔の高い湖です。温かくなると避暑地として、ヨットやウィンドサーフィンをする若者で賑わっています。次に大きい河口湖は交通の便に恵まれているため、観光施設、宿泊施設も充実しており、富士山周辺観光の拠点にもなっていました。西湖、精進湖、本栖湖は湖面の高さが同じだそうです。昔は1つの湖でしたが、溶岩流によって分断された今も溶岩の下で水がつながっているため、湖面の高さは同じだとされています。富士山が世界遺産に認定され富士五湖の人気も高くなっている中、大胆にもその全てを満喫するべくツーリングイベントを開催いたしました。バイクのイベントなので天候にはとても左右されやすく、梅雨の影響で天候を心配していましたが、当日は天候も回復し、ツーリングを楽しんでいただけたと思います。コースは本栖湖から右回りで進み、昼食は「わかさぎフライ」など、ご当地メニューを堪能し、地域に触れながら最終目標の山中湖を目指しました。途中、信号や渋滞の影響で列が途切れてしまったこともありましたが、怪我もなく無事にイベントを終えることができました。



集合写真



ツーリングの様子

Project 3.

ASSOCIATE PRODUCER : 黒川 和紀

- Event : 大田区平和都市宣言記念事業「花火の祭典」
- Date : 8月15日(土)
- Place : 六郷土手



大田区では昭和59年8月15日に世界の恒久平和と人類の永遠の繁栄を願い、平和都市宣言を行いました。これを記念する「花火の祭典」は今年で28回目を迎えます。また、本年は終戦70年という節目の年でもあり、さらなる平和への願いを込め、皆様とともに花火を打ち上げたいと思います。



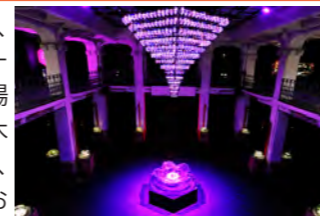
Project 1.



遂に！ 『アートアクアリウム』世界発進！！

EXECUTIVE PRODUCER : 岩澤 はやと

東京・六本木ヒルズで2007年から開催された『スカイアクアリウム』、そして東京・日本橋での開催が定例化し5年目のシーズンを迎えた『アートアクアリウム展 金魚シリーズ』など現在までに457万人の有料入場者を集めたプロデューサーでありアートアクアリウムアーティストの木村英智氏。彼の数々のプロジェクトをサポートし続けて10年が過ぎ、今年遂に世界に飛び出しました！今年ミラノ国際博覧会が開かれており世界中から沢山の人がミラノに集まっています。そんなミラノ市の中心地にてアートアクアリウムが現在開催されている(5月29日～8月23日まで)。日本国外初の会場となったのは、1800年台から続く由緒正しき施設【CIRCOLO FILOLOGICO MILANESE】。イタリアの古き良き建築物の雰囲気を活かしながら、アートアクアリウムの世界観を絶妙な融合で魅せている。最先端と伝統が生み出す新たな『日本の美意識』をファッション、デザイン、アートの発信地ミラノで展開・実施しているプロジェクトに関わっていることに弊社としても誇りを感じる。



今回の象徴的な作品(会場の様子)



木村英智氏の代表作「花魁」

Apple Watch 検証中 vol.3.

PRESIDENT : 檜垣 俊吾

Apple Watchの使い心地については、最終回と致しまして、今回は「うまく来ていないところ」をお伝えします。

まず、Apple Watchの基本機能は、時計なので時刻が見れるわけですが、それには手首を持ち上げて、画面がオンになるまでのほんの一瞬待つ、これが気になります。セッカチで心に余裕がない自分がいけないと思いつつも、必ずしも毎回確実にオンになるわけではないので、数十回に1回オンにならなかったときは余計にフラストレーションを感じます。次に、スクリーンがすぐにオフされること。場合によっては、使っている最中にちょっと間があるとオフになったりすることもあり、非常にイライラします。これはバッテリーの持ち対策だとは思いますが、この息の合わない感じは、出始めのスマートフォンを思い出します。そして、通話について。街中でApple Watchを顔に近づけて電話しながら歩くのは、慣れそうにもありません。周りには相手の通話が聞こえるし、耳と口に交互にくっつけることになり、全く便利を感じません。確かに便利な機能もありますが、総合的にはアップルの第一世代製品的な「詰め」を感じるモノでした。現状、どこのブランドもスマートウォッチの方向性や使用シーンがしっかりと見えなくて、アプリや機能も突き詰められたものになっていません。買うべきかと言われれば、今はまだ、Apple Watchを買うべきではありません。期待を込めて言えば、次にはベータを脱した正式版が出ると思いますので…。



Project 2.

ASSOCIATE PRODUCER : 広川 映里夏

- Event : セサミストリート 45th アニバーサリーフェア
A look behind the longest street in the world
- Date : 日本橋:7/30～8/10、横浜:8/12～8/24
- Place : 日本橋高島屋8階ホール、横浜高島屋ギャラリー8階



“Can you tell me how to get to Sesame Street?”(セサミストリートへはどうやって行ったらいいか教えてくれない?) 愉快的仲間達といつもわくわくする様な出来事が日々起きている「セサミストリート」。皆様の中にも一度行ってみたいと思われた方がいらっしゃるのではないのでしょうか？実は、わざわざ飛行機に乗ってアメリカへ行かなくても、日本であの楽しい雰囲気浸れます！今月30日より、セサミストリートの世界が日本橋と横浜の高島屋へやってきます！今年、45年目のシーズンを迎えるアメリカ生まれの教育番組の「セサミストリート」。私もこの番組を見ながら育った1人として、未だに子供たちから大人まで、幅広く愛されている番組はそう幾つもない気がします。何と言っても、リアルな生活感があるキャラクターたちや、ミュージシャン、スポーツ選手、映画俳優など、様々なジャンルの著名人も出演し、自分たちの職業の話をセサミストリートの仲間達としたり、またあるテーマに沿って歌を歌ったりと視聴者を楽しませ、なおかつ、ちゃんと勉強もさせてくれる番組です。



今回の展覧会は気になる番組の舞台裏の世界が少し覗けたり、番組で実際に出演していたキャラクターと対面できたりと、非常にレアな体験ができそうです！弊社スタッフも、個人として、またライセンスとしても必ず行きたい展覧会です！入場は無料ですので、皆様も是非足をお運びください！！

Project 4.

EXECUTIVE PRODUCER : 岩下 信而

- Event : アメリカ大使館農産物貿易事務所 (ATO)
- Date : 7月23日(木)
- Place : ホテルインターコンチネンタル東京ベイ5階



10年以上担当させていただいている、米国大使館主催のアメリカ産食品のショーケース。本年度のテーマは、「グルメ・フードトラック・クイズン」大使館員で弊社の理解者でもあるナイスガイ、アレックス大塚さんの仕掛けで、映画とのタイアップという初の試みのショーケースとなりました。その作品は「シェフ～三ツ星フードトラック始めました～」一流のシェフが自分の作りたい料理のために、ダスティン・ホフマン演ずる高圧的なオーナーや、ティピカルな料理評論家と対立、スカーレット“横田郁夫の壁紙”ヨハンソンに後ろ髪引かれながら、フードトラックでアメリカ各地の美味しい料理を探索する旅に出ます。同行する息子がSNSの達人なので、行く先々でBuzz効果が高まり大盛。ぼくの大好きなロードムービー(昔で言う「道行」ですな)の展開で、アメリカ各地のグルメやカルチャー、親子の触れ合い、大スターたちのなりきり演技などを楽しみ秀作。作品中、キューバ文化が濃いマイアミから始まって、フランスと南部が華麗に融合したニューオーリンズ、カウボーイの象徴テキサス…各地の個性的なサンドイッチが登場します。今回のショーケースは、それに加え、全米各地のリージョナルサンドイッチのレシピを見事に再現し、アメリカ産の食材の魅力を効果的に紹介することができました。フードトラックは、アメリカでは食のトレンドであるようです。映画では「屋台」とスーパーインポーズされていましたが、日本の屋台や移動販売とは趣が全く異なるよう。一流のシェフが、本当に作りたい料理をリーズナブルな価格で提供することで、成長しているようです。町山智浩がいい分析をしていた。彼曰く、日本で一番それに近いのは「俺のフレンチ」「俺のイタリアン」ではないか、と。成る程、ボン(膝を叩く音)！日本では、どんなスタイルで定着するのでしょうか？そして物語は、夏休みが終わる頃、旅も終わりに近づく、結末は見てのお楽しみ。それにしても、ソフィア“ジゴロ・イン・ニューヨーク”ベルガラが、別れた旦那に自分の元カレ、ロバート・ダウニー・JRの所有するフードトラックを手配するシチュエーションが圧巻。料理人を支える逞しい女性という点では、秋山俊子と同じですう～はい。では次号、Ciao、いや今月はBon Appetit



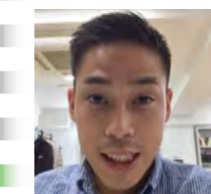
ハラベコになる1本、ビール片手に。



大好きなロードムービーも遥か25年前の作品。プラビも駆け出し。

朝バス(活)はじめました

秋葉 悠介 (第1プロジェクト)



ここ数年で流行った「朝活」、朝は脳が集中しやすい時間帯の為、仕事が効率的にできたり、人よりも早く起きることその分時間に余裕ができると思います。僕が始めたのは「朝バス」、休日は早朝4時に起きてバスケットボールをしています。きっかけは、場所が代々木公園のバスケットコートなのですが、昼間は大柄な外国人が多い為、比較的人が少ない時間帯の朝から始めるようになりました。ここのシステムは素晴らしく、周辺で人数が集まれば誰かが「しょうか?」と言いだし、すぐに試合が始まります。さっきまで全く知らない者同士が一旦、試合が始まれば言い合い、褒め合い、とにかく毎回新鮮です。外国人ともバスケットをすれば何がしたいか何となく分かるし、単語+ジェスチャーでの会話で十分です。7時頃になると中学生が増えてくるので一緒に試合したり、全然ついていけません…。そんな調子で10時までガッツリやってもまだ午前中。1日がとても長く感じて最高のリフレッシュができています。みなさんも好きなことから朝活初めてみてはいかがでしょうか？



▲バスケットシューズ達



▲1番乗りでシュート練習



▲中学生とも試合